

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-168	高等学校	地理歴史科	日本史 A	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	日 A 3 0 8	日本史 A 現代からの歴史		

1. 編修の趣旨及び留意点

- 近現代の歴史を多面的・多角的に考察するとともに、現代社会の諸課題との関連に気付き、より理解を深めることを重視した。
- 急速に変化しつづける「グローバル化の時代」を生き抜く力の育成をめざし、作業的・体験的な学習を通して、社会的事象への関心、主体的に社会に参画する意欲、歴史的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力が身に付くようにつとめた。
- 我が国の歴史と近隣のアジア諸国や世界の歴史を関連付けて近現代史を学ぶことを通し、国際理解と国際協調の重要性を認識し、東アジアをはじめ世界のなかの一員として、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養うことをめざした。

2. 編修の基本方針

(1) 近現代史の基礎的知識を定着させ、歴史的認識を養う教科書

- ・本文は、用語の羅列にならないよう時代背景や出来事の関連性などを書き込み、歴史の流れを理解しやすい記述を心がけた。
- ・ポイントをおさえた図表や年表を効果的に用いた。写真は紙面を有効に利用して意義のあるものを掲載し、端的でわかりやすい説明を付した。
- ・各項のはじめにねらいを提示し、問題意識をもって学習に取り組めるようにした。章末には、学習した内容をふりかえる「学習のまとめ」を設け、理解の定着をはかるとともに、歴史資料や風刺画などを取り上げ、文字以外の資料にも取り組めるようにした。
- ・「世界からのまなざし～対話の広場」では、国際的な歴史認識を養うために、外国人の視点から日本史の一面を見つめ、彼らの歴史認識に基づいて叙述した文章を、高校生に自由な感覚でとらえてもらえるよう、さまざまな歴史認識の一例として、書き下ろして掲載した。

(2) 歴史的な見方や考え方、考察・表現する技能を培う教科書

- ・さまざまなテーマのコラムを提示し、多面的・多角的に歴史を考察できるようにした。
- ・「歴史探究の方法」では主題設定、資料・情報の収集、考察と表現の方法をまとめ、さまざまな場面で活用できるようにした。
- ・沖縄と北海道をはじめ、地域をさまざまな切り口で取り上げる「地域の窓」を設け、地域の歴史や諸課題について多角的に考察できるようにした。

(3) 現代社会に主体的に生きる自覚と資質を養う教科書

- ・科目の導入として学習する序章「私たちの時代と歴史」では、現代社会のさまざまな事象や諸課題について考察し、近現代の歴史との関連に気付くことによって、生徒が歴史の当事者としての自覚を持ち、現代社会と向き合う意欲を育てるようにした。
- ・各時代の人々の暮らしや文化を扱ったページを設け、それらが現在の生活や文化につながっていることに気付くとともに、各時代を人々が支えてきたことを理解し、主体的に現代社会の形成に参画しようとする姿勢を養えるようにした。
- ・同年代の若者たちの生き方を紹介した「17歳の肖像」を設け、生徒が歴史を身近に感じ、問題意識を持ちやすくした。
- ・科目のまとめとして実施する「現代からの探究」では、序章で学習した現代社会の諸課題の解決方法について考察し、生徒が現代社会の形成に主体的に取り組めるようにした。

3. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>■ 前見返し 世界の国々と近現代史の舞台 日本から世界へ</p> <p>■ 序章 私たちの時代と歴史 第1節 私たちと歴史の結びつき (以下の1～3から選択して学習する) 1. 身近な生活文化から考えてみよう 2. 二枚の地図を比較してみよう 3. 新聞記事から現代社会の課題について考えよう 第2節 私たちの時代</p> <p>■ 開国までのあゆみ</p> <p>■ 近代の幕開け</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>「私たちの時代と歴史」では、学習課題を設定し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにするとともに、現代社会の諸課題を取り上げ、その解決に向けて考察することを通して、社会の形成に主体的に取り組む姿勢を育てるようにした(第1・3号)。</p> <p>経済・情報・文化・人権等のグローバル化を扱うことで、個人の価値を尊重するとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにした(第2号)。</p> <p>「近代の幕開け」では人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。また、世界的に産業革命が進むなかで、環境問題や衛生問題が発生したことと言及し、環境の保全に寄与する態度を養うように留意した(第4号)。</p> <p>「日本から世界へ」で日本が世界に誇れる伝統ある文化や自然、技術などを提示するとともに、資料「開国までのあゆみ」で前近代から現在につながる伝統や文化について叙述することによって、伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛する姿勢を重視した(第5号)。 世界で広く受け入れられている日本のポップカルチャーを取り上げ、日本の文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	<p>全体</p> <p>6～17 ページ</p> <p>12～17 ページ</p> <p>28～29 ページ</p> <p>前見返し、 18～25 ページ</p> <p>6～7 ページ</p>
<p>■ 第1章 近代日本の形成 第1節 国際情勢の変化と明治維新 第2節 明治新政府の諸改革 第3節 立憲国家の成立</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設けるとともに、「17歳の肖像」で生徒と同年代の人物の生き方を紹介することによって、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにした(第2号)。</p> <p>「地域の窓」で炭鉱労働を扱うなど職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うようにした(第2号)。</p> <p>開国前後や自由民権期における人々の動きなど、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> <p>江戸末期から明治期にかけて流行したコレラなどの伝染病を取り上げることにより、生命を尊ぶ態度を養うように留意した(第4号)。</p> <p>浮世絵やジャポニスム、日本における洋画の誕生、明治期の演劇などを取り上げるとともに、それらと外国との関わりにも言及することによって、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	<p>全体</p> <p>40, 48, 65 ページなど 37 ページ</p> <p>54 ページ</p> <p>32, 38～41, 48～49, 56～57 ページなど</p> <p>49 ページ</p> <p>65, 66～67 ページ</p>

<p>■ 第2章 東アジア世界の変動と日本</p> <p>第1節 日清戦争と近代社会の確立</p> <p>第2節 日露戦争と帝国日本の形成</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p>	全体
	<p>学習課題を各項の冒頭に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにするとともに、章末に「学習のまとめ」を設けて知識の定着をはかった(第1号)。</p>	72, 80 ページなど 94～95 ページ
	<p>歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設けるとともに、「17歳の肖像」で生徒と同年代の人物の生き方を紹介することによって、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにした(第2号)。</p>	77, 80 ページなど 78 ページ
	<p>産業革命期の労働や発明、日清戦争前後の庶民の暮らしを取り上げるなど職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うようにした(第2号)。</p>	84, 88, 90～92 ページ
	<p>東アジアにおける歴史的事象を客観的かつ公正な資料と研究に基づいて叙述し、また山川菊栄や与謝野晶子、樋口一葉等女性を多く取り上げることにより、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p>	72～75, 78, 80, 90～92 ページなど
	<p>産業革命などにとともなう環境問題について取り上げ、歴史的視点から環境問題を考えることができるよう留意した(第4号)。</p>	86 ページ
	<p>近代文学や自然科学の発達を取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養うようにした(第5号)。</p> <p>日清戦争後における国民意識の確立について丁寧に叙述することで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	92 ページ 77 ページ
<p>■ 第3章 二つの世界大戦と日本</p> <p>第1節 第一次世界大戦と帝国日本</p> <p>第2節 政党政治の時代</p> <p>第3節 軍国日本への道</p> <p>第4節 太平洋戦争</p> <p>■ 近代の追究 (以下の1～3から選択して学習する)</p> <p>1. 木綿と生糸－衣料製品をめぐる近代</p> <p>2. 鉄道と航路から地域の変容を考える</p> <p>3. 流行歌から国際情勢と国民のかわりを考える</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p>	全体
	<p>学習課題を各項の冒頭に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにするとともに、章末に「学習のまとめ」を設けて知識の定着をはかった(第1号)。</p>	96, 108, 116, 126 ページなど 140～141 ページ
	<p>「近代の追究」では、学習課題を設定し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにするとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うようにした(第1・2号)。</p>	142～145 ページ
	<p>歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設けるとともに、「17歳の肖像」で生徒と同年代の人物の生き方を紹介することによって、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにした(第2号)。</p>	105, 113, 129 ページなど 107 ページ
	<p>東アジアにおける歴史的事象を客観的かつ公正な資料と研究に基づいて叙述し、また大正期の社会運動や思想、ボランティアについて丁寧に叙述することにより、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p>	96～99 ページなど 100～103, 111 ページ
	<p>日本近現代史のなかの震災や、命についての人々の関心の広がりや扱うことによって、生命を尊ぶ態度を養うように留意した(第4号)。</p>	110, 117 ページ
	<p>大衆文化の発達や、大正・昭和初期の学問、文学、芸術などを扱うことによって、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	102～103, 136～138 ページ

■ 第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本 第1節 現代世界の開幕と日本の戦後改革 第2節 高度経済成長の時代	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
	学習課題を各項の冒頭に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにするとともに、章末に「学習のまとめ」を設けて知識の定着をはかった(第1号)。	146, 160 ページ など 174～175 ページ
	歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設け、「17歳の肖像」で生徒と同年代の人物の生き方を紹介するとともに、日本国憲法が保障する基本的人権の尊重について丁寧に扱うことによって、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにした(第2号)。	155, 165 ページ など 168 ページ 152, 167 ページ
	高度経済成長期の労働や社会・文化、集団就職について取り上げるなど職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うようにした(第2号)。	164～168, 170～172 ページ
	日本国憲法の制定や戦後の民主化についての記述や資料を充実させ、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述し、互いの権利を尊重し、義務を果たしながら、平和で民主的な国家・社会の形成に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。	150～155, 160～163 ページ など
	公害と都市問題について取り上げ、環境保全の重要性に気づき、解決に向けて思考を深めることができるよう留意した(第4号)。	165 ページ
	戦後の文化や暮らしの復興についての内容を充実させ、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮した(第5号)。	154～155, 166 ～167, 170～ 172 ページ
■ 第5章 現代の世界と日本 第1節 国際秩序のゆらぎと経済大国日本 第2節 冷戦の終焉と日本 ■ 現代からの探究 ■ 歴史探究の方法 ■ 巻末年表 ■ 歴代内閣略史 ■ 後見返し 政党の変遷と歴代内閣 旧国名と都道府県対照図	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
	学習課題を各項の冒頭に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにするとともに、章末に「学習のまとめ」を設けて知識の定着をはかった(第1号)。	176, 188 ページ など 200～201 ページ
	「歴史探究の方法」では、探究にあたって必要となる、主題設定、資料・情報の収集、考察、表現の技能について丁寧に解説し、その方法を具体的に示した(第1号)。	204～205 ページ
	歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設け、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うようにした(第2号)。	184, 194 ページ など
	フェミニズム、多文化共生の考え方などを取り上げ、男女雇用機会均等法、ボランティア、NPO などについて丁寧に叙述することによって、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。	176, 184, 195～ 197 ページ
	「現代からの探究」では、現代社会の諸課題を取り上げ、その解決に向けて考察することを通して、社会の形成に主体的に取り組む姿勢を育てるようにした(第3号)。	202～203 ページ
	公害問題、現代の自然災害や地球環境問題について取り上げ、環境を保全することの重要性を認識し、国際協力の必要性について理解を深めることができるようにした(第4号)。	176～177, 196～197 ページ
	新幹線や秋葉原を取り上げ、日本が誇る文化について理解するとともに、外国との関わりにも言及することによって、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。	186, 187 ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し，色覚特性などにかかわらず，さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるように配慮した。
- 再生紙と植物油インキを使用し，環境に配慮した。
- 見返しに世界地図と日本地図を提示し，学習の際に参照できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-168	高等学校	地理歴史科	日本史 A	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	日 A 3 0 8	日本史 A 現代からの歴史		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◆総則における「教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項」、「教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項」に示された内容に関して、以下の点に配慮した。

1. 言語活動の充実

- ①科目の導入「私たちの時代と歴史」、「近代の追究」、科目のまとめ「現代からの探究」では、自分の考えを文章でまとめて表現したり、意見を交換したりする活動を提示し、言語能力の育成をはかった。また「歴史探究の方法」に手順をまとめ、活動の助けとなるようにした。
- ②章末に配した「この章のまとめ」では、時代を自分の言葉で表現したり、写真から考察させたりするなど言語活動に関する問いを設けた。

2. 見通しを立てたり、ふりかえったりする学習活動の重視

- ①各項の冒頭に「ねらい」を設定し、どのような点に着目して学習を進めていけばよいか、わかりやすくした。
- ②章末の「学習のまとめ」で、その章で学習した内容をふりかえり、理解を深め、知識が定着するようにした。
- ③序章で現在の社会とその諸課題を概観し、第1章から第5章までを学習したあとで再び序章の内容をふりかえると、近現代の歴史と現在との結びつきがより理解できる構成にした。

3. 障害のある生徒の指導

色覚特性のある生徒にも判別しやすいように、配色に配慮した。

◆地理歴史科(日本史A)の目標に関して、以下の点に配慮した。

4. 地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目した近現代史の考察

- ①前見返し「世界の国々と近現代史の舞台」および後見返し「旧国名と都道府県対照図」で世界地図と日本地図を掲載し、地理的条件と関連付けながら近現代史を学習できるようにした。
- ②各章のはじめに世界の動きを概観し、我が国の歴史と世界の歴史との関連付けをはかった。
- ③序章「私たちの時代と歴史」で現代社会とその諸課題について学習し、それらが近現代の歴史のなかでどのように形成されてきたのか、結びつきを意識しながら学習を進められるようにした。

5. 歴史的思考力の育成

- ①主題を設定し、資料・情報を収集し、考察し表現する活動を随所に盛り込み、歴史学習の基本的な技能の修得をはかった。
- ②さまざまな視点のコラムや特設ページを設け、歴史を多面的・多角的に考察する力を養成し、国際社会を主体的に生きるための歴史認識の育成をはかった。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の 内容	該当箇所	配当 時数
序章 私たちの時代と歴史	1 私たちと歴史の結びつき	内容 (1)	6～11 ページ	1
	2 私たちの時代	内容 (1)	12～17 ページ	1
第 1 章 近代日本の形成	開国までのあゆみ／近代の幕開け	内容 (2) ア-(ア)	18～41ページ	6
	1 国際情勢の変化と明治維新	内容 (2) ア-(ア)	42～55ページ	6
	2 明治新政府の諸改革	内容 (2) ア-(ア)	56～65ページ	5
	3 立憲国家の成立	内容 (2) ア-(ア)	66～71ページ	1
	この時代の文化／学習のまとめ	内容 (2) ア-(ア)	66～71ページ	1
第 2 章 東アジア世界の変動 と日本	1 日清戦争と近代社会の確立	内容 (2) ア-(ア) (イ)	72～79ページ	3
	2 日露戦争と帝国日本の形成	内容 (2) ア-(イ) (2) イ-(ア)	80～89ページ	4
	この時代の暮らしと文化／ 学習のまとめ	内容 (2) ア-(ア) (イ) (2) イ-(ア)	90～95ページ	1
第 3 章 二つの世界大戦と 日本	1 第一次世界大戦と帝国日本	内容 (2) イ-(ア) (イ)	96～107ページ	5
	2 政党政治の時代	内容 (2) イ-(イ)	108～115ページ	3
	3 軍国日本への道	内容 (2) イ-(イ)	116～125ページ	5
	4 太平洋戦争	内容 (2) イ-(イ)	126～135ページ	4
	この時代の暮らしと文化／ 学習のまとめ	内容 (2) イ-(ア) (イ)	136～141ページ	1
近代の追究	1 木綿と生糸 －衣料製品をめぐる近代	内容 (2) ウ	142～145ページ	1
	2 鉄道と航路から地域の変容を 考える			
	3 流行歌から国際情勢と国民の かかわりを考える			
第 4 章 第二次世界大戦後の 国際社会と日本	1 現代世界の開幕と日本の 戦後改革	内容 (2) イ-(イ) (3) ア, イ	146～159ページ	6
	2 高度経済成長の時代	内容 (3) ア, イ	160～169ページ	4
	この時代の暮らしと文化／ 学習のまとめ	内容 (2) イ-(イ) (3) ア, イ	170～175ページ	1
第 5 章 現代の世界と日本	1 国際秩序のゆらぎと 経済大国日本	内容 (3) ア, イ	176～187ページ	5
	2 冷戦の終焉と日本	内容 (3) ア, イ	188～197ページ	5
	この時代の暮らし／学習のまとめ	内容 (3) ア, イ	198～201ページ	1
現代からの探究	オリンピックを通して探究する 近現代／歴史探究の方法	内容 (3) ウ	202～205ページ	1
			計	70